

山口県公立大学法人評価委員会（第18回）の審議要旨

- 1 日 時 平成24年3月21日（水） 13:30～15:30
- 2 場 所 山口県庁共用第3会議室
- 3 出席委員 牛見委員長、呉委員、樋口委員、二木委員、松浦委員（50音順）
- 4 審議事項 第2期中期計画（平成24～29年度）について
- 5 審議要旨 [● 委員 ◇ 委員長 □ 法人 △県]

① 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- 数値目標として「就職希望者に対する就職決定者の割合」を掲げていることに異存はないが、実質就職率についても意識しておいていただきたい。

注) 実質就職率 : $\text{就職決定者数} / (\text{卒業生数} - \text{大学院進学者数}) \times 100$

- 実質就職率については、第1期と同様に実績管理を行う考えである。

- 国際文化学科の全ての学生が海外での実地体験を積むことを目指すとしているが、学生の負担を軽減する方策について何か考えているのか。

- 他の大学が行っている支援措置も参考にしながら、研究していきたいと考えている。

② 地域貢献に関する目標を達成するためとるべき措置

- シニアが退職後に能力を発揮できる場づくりや、企業における高年齢者にふさわしい働き方をテーマとする研究にも取り組んでいただきたい。

- 民間が行う「高齢者の能力を十分に活かしたまちづくり」の取組に関わる機会等もあることから、今後は、こうした場も活用しながら、大学としての取組を広げていければという思いを持っている。

③ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- 教職員の権限と責任を明示し、自発的な業務遂行の促進と組織としての意思決定を迅速化すること自体は良いことだが、行き過ぎにならないよう留意していただきたい。

□ 何らかの事象が起こったときに責任の所在や役割分担が不明確にならないようにすることを念頭においているが、御指摘の点については留意していく。

④ 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

● 第2期（6年間）の自己収入の総額が、第1期の自己収入の計画総額を上回るとの目標を設定しているが、この達成のために学生数の増又は学納金の値上げを予定しているのか。

□ 定員増や授業料の引き上げは予定していない。科研費の間接経費や生涯学習プログラムの充実による受講料収入の確保等により、目標を達成したいと考えている。

⑤ 剰余金の使途

● 県において第2期の施設整備が予算化されているが、大学においても整備に向けて剰余金を積み立てた方が良いと思う。

△ 県の財源で必要な施設を整備することが基本と考えているが、大学からの申し出により、部分的に大学の財源で対応することを否定するものではない。これから、詳細な検討を行う中で、大学とも協議してまいりたい。

⑥ その他

● 今年、看護学科を中心に受験者が大幅に減ったことに対する対応策について何か考えているのか。

□ 現在、受験者減の要因を分析中であり、対応策について、お答えできる状況にない。

⑦ 結論

◇ 中期計画の認可について、評価委員会の意見は「申請どおり認可することが適当である。」とする。

以 上